

雑感

人間は未来を考える動物である

朝、散歩していると、電線の上に数羽の鳩がとまって、さえずっていた。ふと、この鳩たちは幸せなのだろうかと思った。こうやって集まって時間を過ごしている鳩たちは幸せなんだろうが、人間の幸福とはだいぶ違ったものなんだろう。

人間が他の動物と大きく違うのは、欲望が大きいところだろう。欲望が大きいため生産物も増えたが、諍いや戦争が起きてしまう。そうなったのは、たぶん牧畜や農耕をするようになったからだろう。家畜や穀物が蓄えられるようになると、将来のことが考えられるようになった。一年よりまず一と先の期間、すなわち未来が生まれた。

力のある者は人よりも多くのものを得るようになり、貧富の差が生まれ、身分制ができてきた。そのような社会のあり方に対して、イエスは人間に大切なものとして隣人愛を説き、釈迦は人間の欲望の肥大化を戒め、孔子は仁愛と礼(正し

い生活の規範)を説いた。

科学技術の発達によって物質的に豊かな現代社会においても、この問題はまだ解決されてはいない。それどころか、ますます人間は強欲になり、凶暴になっている。そして、未来がどうなるのか不安と怖れをもって暮らしているし、何が本当に幸福なのかよく分からなくなっている。

将来のことをよくよく考えずに、「今ここにある」ことを幸せに感じることは大切なことである。その一方、未来に夢や希望を持つことも、同じように大切なことだと思う。人間は未来を考えることによって急激な地球環境の変化に適応し、生き残ってきた。これからも人類が存続していくためには、望ましい未来の明確なビジョンを持ち、持続可能な生活を実践していかなければならない。なぜなら、それが私たち人類が共存して、幸せに生きられる唯一の道なのだから。(辻)

各種イベントのお知らせ(1月~3月)

おかあさんの自己肯定感をとりもどそう! シーズン3

「子育てハッピーアドバイス」のエッセンスをお伝えする子育てカフェです。【対象】子育て中の方、子育てに関心のある方【講師】認定子育てハッピーアドバイザー 守安あゆみ・坂本鶴子【実施日】第1回1月17日(水)、第2回2月14日(水) 第3回3月14日(水)【時間】10:00~12:00【場所】箕面こどもの森学園【参加費】1回2,000円、3回通し参加で6,000円が4,500円に!

親と子の土曜クラス「そら」後期参加者募集!

小さいこどもの心や体の成長に必要な生活リズムを大切にしたいこどもの時間と、子育てカフェや手仕事をしながらほっこりする大人の時間、こどもも大人も自分を大切にゆったり集える居場所です。まずは体験にお越しください!

【対象】3歳~就学前の親子【期間】2017年10月~2018年3月 計10回 月2回(土曜日)9:00~13:45(14時解散)

【場所】箕面こどもの森学園【参加費】開始日によって参加費が異なりますのでお問合せください。

教育カフェマラソン

さまざまな分野の方を話題提供者にお招きし、教育について語り合います。学校教育だけにとらわれず、子育てや地域・まちづくりなど、幅広い視点で考えたいと思います。

第59回:新年会「みんなが話題提供者」

【実施日】2018年1月19日(金)【場所】なごみ白木屋:千里中央南口駅前店【参加費】3,600円

※第60回以降の情報は教育カフェマラソンのブログをご覧ください。http://kodomonono-mori.com/cafemarason/

【場所】箕面こどもの森学園【参加費】500円



発行日:2018年1月10日
発行所:認定NPO法人 箕面こどもの森学園
〒562-0032 大阪府箕面市小野原西6-15-31
tel&fax 072-735-7676
e-mail info@kodomonono-mori.com
URL http://kodomonono-mori.com
ユネスコスクール Member of United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization UNESCO Associated Schools

こんな学校に出会いたかった!!
♪箕面こどもの森学園 生徒募集♪
2018年度の生徒募集をしています!
自分も人も大切にしながら、いきいきと学べる学校に入学しませんか?

募集人数
小学部:定員満了(キャンセル待ち受付中)
中学部:1年生3名(2018年2月末まで)
見学日:月・水・木(事前申し込み必要)
体験入学:学校見学の後、所定日数の学習体験をしていただきます。
入学面接:ご相談の上で日程を決めます。
※見学、ご入学をご希望の方は、学園事務局までご連絡ください。
TEL&FAX:072-735-7676
メール:info@kodomonono-mori.com

こどもの森 もりもり大作戦!
~ もりもりサポーター大募集 ~

箕面こどもの森学園は、「自分も人も尊重しつつ、対話し、学び続けていく共同体の実現」を目指しています。
子どもの主体的な学びに関心のある方、イベントの企画・運営、子どもの学習サポートなど、学校運営やNPO事業の運営に関心のある方、とにかくこどもの森を応援したいと思ってくださる方、ぜひ賛助会員「もりもりサポーター」になってください。
一緒に持続可能なミライを創っていきましょう!

もりもりサポーターになれる方は、NPO法人箕面こどもの森学園の賛助会員に登録されますので、入会申込書の提出と賛助会費を下記によりお取願います。

年度会費:3,000円
申込先:認定NPO法人箕面こどもの森学園 (tel&fax:072-735-7676)
振込先:(加入者名)NPO法人箕面こどもの森学園
<郵便払込>00980-7-232403
<銀行振込>
ゆうちょ銀行四〇八支店(普)6819072
池田泉州銀行小野原支店(普)72258

\*\*\*\*\*

《編集後記》

新年あけましておめでとうございます。いつもご支援をありがとうございます。

あつという間に年末、そして新年という時の流れの早さについていけないこの頃ですが、学園の子どもたちと、こどもの森学園は、どんどん前進しています。

学園のホームページでは、こどもの森での新しい情報をブログや動画などで発信していますので、ぜひご覧ください!

今後とも、宜しく願いいたします。(日置)

テーマ学習『へいわってなに?』

2学期は「平和」について学びました。平和とは何だろう、ただ戦争のない世界が平和だといえるのだろうか、など様々な疑問を出し合いました。その後、立命館国際平和ミュージアムを訪ね過去の戦争や今世界で起こっている紛争や貧困などについて知り、平和でない社会を身近に感じる機会になりました。

また、小学生の時に太平洋戦争を経験した方から、当時の情勢や厳しい生活を伺い、世界に関心を向けることの大切さにも気づきました。

低学年クラスでは自分の心が穏やかになる方法を考え、レシピ風に絵や言葉で表しました。また三色の帽子(暴力・我慢・対等な話し合い)を使ったワークショップを行い、対立が起こった時に平和的に解決する方法を考え発表しました。

高学年クラスでは、グループや個人が興味を持っている事柄から平和を考え発表しました。「動物と平和」「壁」「協力」「ノーベル平和賞に選ばれた人たち」「心の平和」「大久野島」など調べてきた事柄から深く学び、自分が出来る事を考えました。又ほかの人の発表から多く気づいて、さらに考える時間になりました。

この学習から自分、友達、家族が平和であるとはどのようなことなのかを考え、それがいつか世界に向かって広がって行けばと思います。(芳仲ま)

台湾の全人実験学校と交流

中学部は、昨年の韓国ガンジースクールとの交流に続き、今年は台湾の全人実験学校(Holistic Education School)と交流しました。

台湾縦断の観光を含めた10日間の研修旅行では、13人の中学生がホテルの予約や交通の案内、観光地のガイドなど、様々な役割を担い、全員で協力しあって

旅を進めていきました。

全人実験学校では、その学校の生徒たちに、自分たちの学校や日本文化を紹介したり、言語を越えて楽しめるジェスチャーゲームを主催したり、折り紙やけん玉を通して交流しました。

また、ダンスやロッククライミングなど、全身を使って学ぶプログラムを体験したり、英語の劇や全人実験学校の紹介プレゼンテーションを聞いたり、多くのことを経験しました。

そして観光でも、オランダ統治時代に建てられたお城跡がある安平古堡など、自分たちで決めた様々な場所を訪れました。

全員で話し合いながら困難を乗り越えて旅をしていくという貴重な体験を通し、子どもたちは一段とたくましくなってきました。(佐野)



修学旅行

今年も高学年クラスは修学旅行へ!といっても、こどもの森の修学旅行というのは必ず実施されるものではありません。行く、行かないも子どもたちに任せられます。年度の始めから、話し合いを繰り返し、資金集めにチャレンジし、資金が集まったら、それをどう活かしていくのかを考えながら、長い時間かけて準備を進めていきます。

今年は一通りの準備が整ったのが、出発のほんの数日前でした。

目的地の城崎温泉では、渡り船に乗って玄武洞公園を見に行き、外湯巡りでたくさんの温泉につかり、大荒れの日

本海を横目に城崎マリンワールドではバックヤードに入ったり、セイウチに触ったり、色んな体験をして、充実した時間を創り上げました。(藤丸)



お泊り会

お泊り会の話し合いを始めたのが10月の中旬。低学年の人数も多くなってきたことから、今年は初の「お泊り会実行委員会」を立ち上げ、3年生が中心になって話し合いをリードしてくれました。行き先、スケジュール、夜のお楽しみ、ご飯のメニューなど、ああでもないこうでもない言いながら、誰もが反対しない案を探っていきます。

その場にいるみんなが話についてくるか、決め方が強引ではないか、一つひとつ確認しながら決定していくその過程は、まさに民主的です。

当日は、公園で走り回り、ミカン狩りでミカンをはおぼり、宝探しや逃走中などをして、まだまだ夜も遊び続けました。

今年のお泊り会も、こどもたちの笑顔いっぱいでお終ることができました。(福田)



【小学部】

《 自由作文 》

USJ に行ったこと 温モモ (5年)

9月18日USJに家族と一緒にきました！USJに着いたら人が多くてびっくりしました。その日はハロウィンのイベントの日なので、カボチャのカバンを持っている人に「トリックアート」と言ったら、あめをくれました。ミニオンからもあめをもらいました。そしてお昼ご飯をたべました。

その後、ハリーポッターのエリアに行きました。バタービールを飲みました。おいしかったです。ハリーポッターのお店も行きました。面白い物がいっぱいありました。けど何も買いませんでした。

7時ぐらいになったのでゾンビゾーンにゾンビがやってきました。とてもビックリしました。でも、とても楽しかったです。

友だちの家に遊びに行ったこと かずま (6年)

先週の水曜日に、のま・みなと・おうた・こうちゃん、てんまの家に遊びに行きました。初めにのまとてんまと僕でWiiUのソフトの大乱闘スマッシュブラザーズというゲームをしました。楽しかったです。そして、のまと僕でまた同じゲームをしました。のまが僕に一回も勝てないので可哀想でした。その後、おうた・みなと・こうちゃんが帰ったので3人でマイクラフトをしました。とても楽しかったです。家に帰ると妹が「今日あやかの家泊まるし」と言ってきました。なんか学校の人が僕の近くに絶対おるなと思いました。次の日の午前11時ぐらいにのまが家に来てびっくりしました。その日もてんまの家で遊びました。初めにのまとアームズというゲームをしました。16勝1敗で勝って嬉しかったです。とても楽しい2日間でした。

《 プロジェクト紹介 》

まくら なつき (1年)

どうしてつくったかという、つくって見たかったからです。

作り方の説明をします。まず、すぎないろのぬのをえらびます。つぎにぬのをおってミシンでみぎとひだりをぬいます。そのつぎにわたをまくらにいれます。さいごにミシンでうえをぬいます。それでかんせいです。かかったじかんは1コマです。

むずかしかったところはミシンでぬうところです。

こうしたらもっとよくなるとおもったことは、さいごにとじるふぶんをぬいぬをみえないようにすればよかったです。

次にやってみたいことはふくです。



ミトン りんたろう (1年)

どうしてつくったかという、ファイルを見ておもしろそうだったからです。

つくりかたのせつめいをします。まず、ぬのをよいします。つぎに2まいのひらサイズにきります。それからはりにいととおします。つぎにおもてとうらのぬのをあわせてぬいます。かんせいです。

たのしかったところは、はりといとでぬうところです。くふうしたところは2つともつくったところです。つぎにやりたいことは、ローラーげたです。



【中学部】

《 ワールドオリエンテーション 》

平和のレシピ ～ ささやかな提案 ～

「平和ってどんな状態？」そんな問いから始まった2学期。立命館大学国際平和ミュージアムの見学、戦争を体験された楠山雅彦さんのお話や平和の年表作り。平和や対立について学びながら自分のテーマを決め、疑問や仮説にそって調べていきました。そのテーマは『子どもたちの平和のために学校はどうあればいいのか』『子どもにとって幸せ、平和な教育ってどんなこと？』『自衛隊は要るか』『なぜ戦争は無くならないのか』『なぜ争いは起こるのか』『世界の識字率と日本の貧困』『身近なところで起こる小さな争い』『ペットの平和』『平和と正義と悪』『アートは平和に影響を与えることはできるのか？』『戦時中の食』『日本が平和のために取り組んできたこと』関心のあることや日常で目にする、哲学的なことまで様々です。

学習発表会では、一人ひとりが発表し、会場からの質問に答えながら、自分の意見を伝えました。平和とは、「み

んなが自分の好きなことをして楽しく暮らせること」「動物も安心して生きられる状態」「安心して学校に行けること」「笑顔が世界中にあふれていること」自分自身のテーマを通し、感じ気づいた言葉。そして、子どもたちが考えた“平和をつくるためにできること”は「多角的に考えること」「国境など壁を作らず、世界中の人を大切に思うことができたら戦争が少なくなる。初めて会う人にも壁を作らずに相手の気持ちを考えながら話しかけたい」「(自分の好きな)絵を使って、世界がポジティブで楽しく平和になるようなメッセージを伝えたい』『～すべき』ではなくて、(誰かを理解するには)『もしかしたら～かもしれない』と考えに幅をもつこと」など。『平和のレシピ』という答えのない問いを探求しながら学んだ今学期。子どもたちの一人ひとりの個性豊かな言葉が、平和をつむぐパズルのピースのように感じました。(高原)

認定NPO法人箕面こどもの森学園の事業活動 9月～12月

第13回 ロハス in こどもの森 ～みんなつながり地球を包む～

10月14日に第13回「ロハス in こどもの森」が開催されました。

今年の10月は台風が多く雨が心配でしたが、なんとか無事開催できました。

今年は「みんなつながり地球を包む」というテーマの下、様々なフード、アート、カフェ、音楽、雑貨等の17の団体の方々にご出店いただきました。

こどもの森は多くの方々と繋がり、地域の中で相互に助け合いながら、まちづくりを担っているのを感じました。

ロハス実行委員は、今回あずま袋のワークショップ、販売を行いました。

調達した生地を、紅花、玉ねぎ、紅茶、ブドウで染めたものを、ミシンで袋状に縫いました。

自分の手で作ったあずま袋には愛着が湧きますし、大切に今も使っています。

知識だけでなく、実際に地球環境のためにできることを、具体的に大人も実践できるところがこどもの森の環境のすばらしさだと再認識しました。

こうした場に子ども達が学べることはありがたいですし、日本全国にこのような学校が広がってほしいと思います。

(井上)



親と子の土曜クラス「そら」

12月の『そら』は、いつもとは違って、みんなで「おもちつき」をしました。始まりはいつもようにゆったりタイム。大人はコーヒー片手におしゃべり、子どもは手仕事やごっこあそびをして過ごします。「おもちつき」の仕事を先に始めたのはおとな。薪を割ったり、臼や餅箱をセッティングしたりと、外の様子がにわかに活気づ

きます。子どもは吸い込まれるようにおとなのもとへ。火を熾したり、臼をお湯で温めたり、餅箱に粉を敷いたり、模倣しながら仕事を担っていきます。

さて、一回目のもちつきがスタート。おとなも子どももベテランも初めての人も臼を中心に気持ちが一つになっていきます。♪べったんべったんおもちつき♪つきたてのお餅を頬張り、おとなは二目目へ。子どもは外から聞こえる笑い声をBGMに絵本の世界へ。

おとなの時間、こどもの時間、そして好きな仕事との出会い。それぞれの“私”がある『そら』の時空間をこれからも大切にしたいと思っています。(西川)



おるたねカフェを開催しました

多様な教育を推進する「おるたネット」の関西グループ「おるた関西」主催で、関西にあるオルタナティブスクールが自分たちの教育のことを順番に紹介する「おるたねカフェ」が4回開催されました。

第3回目は箕面こどもの森学園の紹介でした。今の学園の現状だけを見ていくと分かりにくいことですが、何もなかったところから学校を立ち上げた経緯や、みんなの夢の学校を未来に向けて持続可能な組織にしていくために、力と知恵を合わせて走り続けている道のりについてお伝えしました。

当日は、学校づくりに関心のある方が、名古屋や岡山からも集まって来られた

だけでなく、「学校を創りたい！」という夢をもって自転車で日本一周をしている学生さんも参加してくれました。

これからも、本質を見つめつつ、未来の学校のカタチを模索し続けていきますので、みなさんのお力やお知恵をお貸しください！(藤田)



ESDに関するアジア太平洋専門家会議に参加しました

この学園は、全国に2000校近くあるユネスコスクールの中から、24校のESD重点校に選ばれています。その関係で、中国(北京)で開催された第5回ESDに関するアジア太平洋専門家会議に参加してきました。ESDに取り組む学校の教員の他、北京のユネスコ委員会のメンバー、カナダ、アメリカ、ドイツなどのESD専門家など100名余りの人々が参加していました。

会議の中では、2030年までの国際目標であるSDGsのためにESDが果たす役割や、ESDを実現するための教員のあり方や教室環境、カリキュラム、評価などについての発表があり、この学園の実践も日本のESDの取り組みの事例として発表しました。学習計画、対話、協力、多数決をしない全校集会などの実践が、とても素晴らしいといろんな国の方から感想をいただきました。(藤田)

